

喜多方の歴史

～まちづくり・みちづくりの歴史～



喜多方地域資源調査懇談会 編集

表紙写真／(右上)雄国山
(資料:図説喜多方の歴史)

はじめに

喜多方はラーメンと蔵のまちとして知られていますが、かつては周辺の農村の農産物などを売る市場のまちとして発展してきました。お正月に行われる初市は、その名残です。

喜多方は、もともと扇状地で水はけが良く、山から運ばれた豊かな土壌、良質な地下水などがあり、これらがまちの基盤となり、そしてここに住む人々が力を出し合ってまちを発展に導きます。

ここでは、喜多方の歴史をひもときながら、まちの発展の歴史のほんの一部を紹介します。これが喜多方に興味をもつきっかけになってくれれば幸いです。

喜多方地域資源調査懇談会

喜多方の歴史 目次

1 喜多方の略年表 1

喜多方の略年表 2~3

2 喜多方の発展の歴史 5

(1)古代～中世(縄文～弥生時代) 6

(2)平安時代 7

(3)鎌倉時代～室町時代 8

(4)安土・桃山時代 9

(5)近世(江戸時代) 10

(6)明治 15

(7)大正・昭和以降 19

(8)まとめ 20

3 喜多方の物流の歴史 21

(1)イントロダクション 22

(2)古代～中世(縄文～安土・桃山時代) 23

(3)近世(江戸時代) 24

(4)明治 25

(5)大正・昭和以降 26

4 喜多方地域資源図 27

喜多方地域資源図 28~29

喜多方地域資源調査懇談会委員名簿 30

参考文献 30

編集後記 31